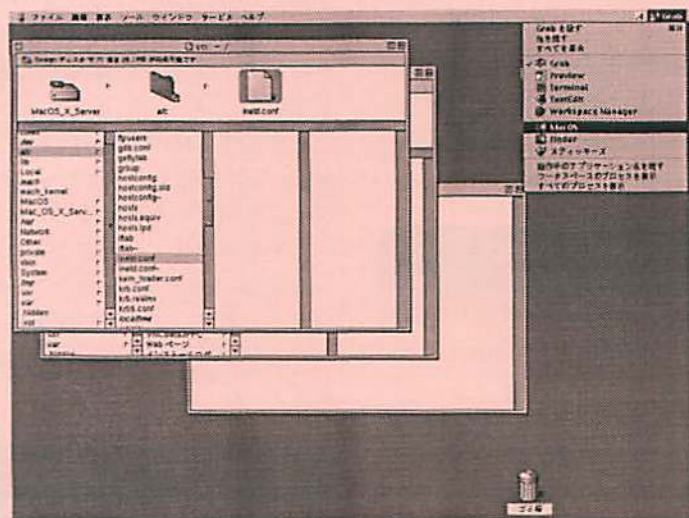


林檎

岩手Mac友の会

Vol.12, No.2 2000.10.28

Iwate Macintosh Funclub



MacOS X Server

MacOS X のパブリックβというものが巷には出たようです。この日本語版がいつリリースされるか気になるところですが、正式版がいつリリースされるかも注目的です。

ところで、似たような名前でも既にリリースされている MacOS X Server リリース1.2 を使ってみました。これは、MacOS X とは全く別物で、UNIX にMacのGUIを付けたようなものといえど何となく雰囲気が分かるかも知れません。(上の画面)

MacOS X Server では、UNIX ライクな OS の上で、WWWやFTPなど、インターネットのサーバーとして運用するのに必要なサービスがインス

トール時に簡単に組み込むことができるようになっています。

また、この環境上で、MacOS を動かす仕組みも組み込まれていて、標準では MacOS8 がインストール時に組み込まれるようになっています。

この環境で MacOS8 を起動すると画面がすっかり MacOS になってしましますが、右上のメニューから、それぞれの OS に切り替えることができます。(上の画面では、右上に、MacOS X Server から、MacOS8 に切り替える時の様子が分かります)

これとは直接関係はありませんが、次ページには Windows の上で、MacOS を動かす方法を掲載しましたので、そちらも御覧ください。

MMM 2000

今年の MMM (Meet the Macintosh in Morioka) はこの号の発行日になりました。本来ならこの紙面で開催を御案内するところでしたが、昨年の積雪経験から、開催を早めたのと、決めるのが遅かったため、急遽ハガキで案内をお送りしました。

MMM の様子は次号でお伝えすることになるでしょう。こちらもお楽しみに。



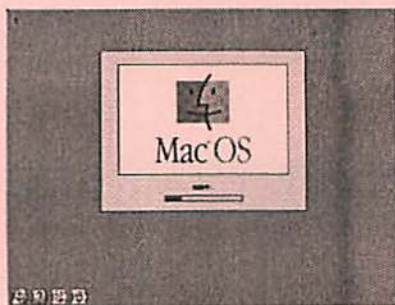
Inside

Run MacOS on Windows -----	2
私のネットライフ -----	4
私の MacLife 再び -----	6
フィレンツェ紀行 -----	8
林檎ギャラリー -----	10
編集後記 -----	11
会員名簿 -----	11
掲示板 -----	12

Run MacOS on Windows

Basilisk II

By NOMURA Yukinori.



いやあ～、B5 ノートサイズのMacは、噂ばかりでなかなか登場しませんねえ。皆さんの中にもモバイル用にやむなくWindowsのNote-PCを持ち歩いている人もいそうですね。私もその一人で、これでMacOSが動けばなあ...とっていました。

Windows上でMacOSが動作するエミュレータには、Fusionなど市販のものがありました。AppleTalkが動かないため、プリントやファイル共有ができなくて不便なこともあり、購入には踏み切れませんでした。

そこへ朗報が入ってきました。

Basilisk II は凄い

そんな時に、Basilisk IIに出会いました。このエミュレータはインテルのCPUでMacOSをほぼ完璧に動作させるものです。しかも、フリーソフトなのです。

フリーソフトだと機能が貧弱だと思われるのが一般的ですが、どっこい、有償ソフトのFusionではできなかったネットワーク対応が実現されています。

EtherTalk, AppleTalkにも対応していて、ネットワークプリンターに出力することも可能なのです。

ところで、左の画面はMacOSの起動画面ですが、この画面コピーはどのようにして撮ったか分かりますか？ Shift+Cmd+4では、取れませんよね？そうです。Windows上でBasilisk IIを動かすと、Windowsのスクリーンコピー機能で、このような画面コピーを取ることも可能になるのです。

入手法

Basilisk IIはインターネットで最新版が入手できます。(WindowsのPCで作業します！)

<http://gamma.nic.fi/~lpesonen/BasiliskII/>

ここは、結構頻りにアップデートされていますので、最新版を入手しましょう。この原稿を書いている時点(2000.9.末)現在のダウンロード可能な最新バージョンは build 139 (9.9.2000) ですが、フルセットになっていませんので、フルセットの build 130をダウンロードして解凍した後、build 135を同フォルダへ上書きコピーして下さい。(Build 139は、<http://gamma.nic.fi/~lpesonen/BasiliskII/recent/>に、sven_01.zip [build 139 (9.9.2000)]として登録されています。

これらは ZIP 圧縮になっていますので、WindowsでダウンロードしてZIPツールで解凍します。

インストール準備

Basilisk IIを動作させるにはMacのROMファイルが必要です。(MacOSのライセンス?) 先程解凍した中にあるROM dumping utilityフォルダ内

のGetRom.sea.hqxをフロッピー経由などで、Macintoshへコピーして、StuffIt Expanderで解凍した後、実行するとROMというファイルができます。(使用できるROMは、68K Macだけです。PowerPCのものは使用できません。)

そうです! Basilisk IIでは、68K Macとして動作します。PowerPC版ソフトは動かないのです!

気を取り直して、できたROMファイルをBasilisk IIのSetupフォルダにコピーします。これで、準備完了!

(ここからはWindowsに戻っての作業です。)

CD-ROMドライバ組込

MacOSからでもCD-ROMを使用できるようにするドライバを所定のディレクトリにコピーします。

Windows95/98の場合、CD-ROM drivers¥9x内のCDENABLE.vxdをc:\windows\systemフォルダに、

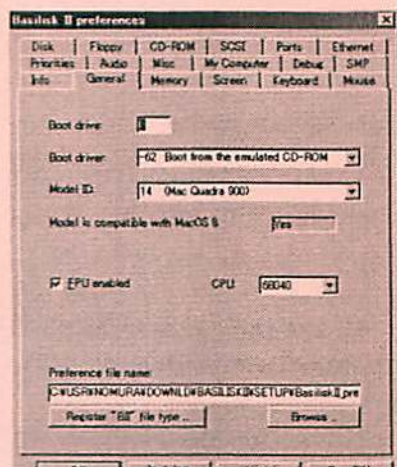
WindowsNT/2000の場合はCD-ROM drivers¥NT4 and Win2k内のcdenable.sysを、c:\winnt\system32\driversフォルダにコピーして再起動します。

2つのBasilisk II

Basilisk IIのSetupフォルダ内には、BasiliskII.exeと、BasiliskIINT.exeがありますが、BasiliskIINT.exeは、Win.NT/2000用ですので、Win.95/98を使用する場合は捨てて、Win.NT or 2000の場合は、BasiliskIINT.exeを、BasiliskII.exeにリネームします。

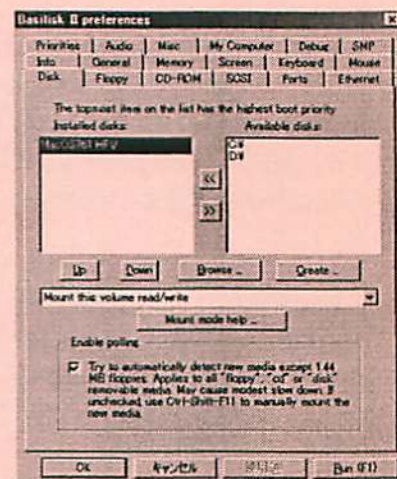
起動準備

Basilisk II の起動環境をGUIで設定ソフト「BasiliskIIGUI.exe」を起動して、各種の設定を行います。



最初に General タブで、Boot Drive を「0」に、Boot Driver: を -62 Boot From the emulated CD-ROM にして CD-ROM を使用できるようにします。

引き続き、Mac の Model ID を指定します。(ここで指定するのは、吸い上げた ROM ファイルとは別にしても良い様です。)



次に、MacOS 用に割り当てるディスクドライブ又はドライブイメージのファイルを指定します。

ドライブを割り当てるには、右側にあるドライブ「D:」等を割り当て

ます(Available のドライブを、左側の Installed disks: に移動)が、この場合、ドライブ全体が MacOS として使用されます。

通常は、HDD 内の一部を仮想ドライブとして割り当てて使用しますので、「Create」ボタンを押して、必要なサイズの仮想ドライブファイルを作成します。(200MB 以上)作成した仮想ドライブファイルの名前も左側(Installed disks: に移動して利用します。)

更に、CD-ROM でブートできるように、CD-ROM タブの CD-ROM enabled にチェックを入れます。

起動テスト

CD-ROM ドライブに、MacOS の CD-ROM をセットして、「Run」ボタンを押します。(セットする CD-ROM は、MacOS 7.0.1 ~ MacOS 8.1 までのものを使用します。MacOS 8.5 は Power PC 用ですので使用できません。)

画面が切り替わって MacOS が起動すれば成功です。

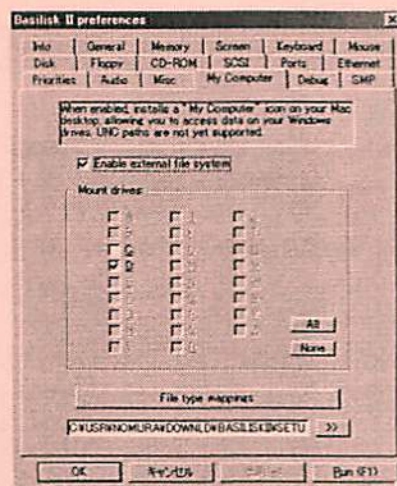
ちなみに、アップルのサイトで漢字 TALK 7.5.3 が無償でダウンロードできるようになっています。

<http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/kt753.html>

が、36MB もありますので注意!

WindowsHD のマウント

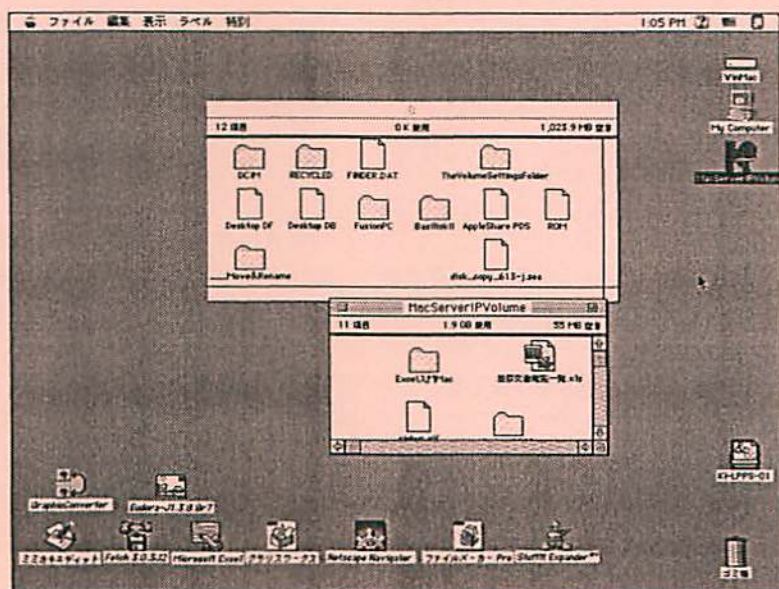
Basilisk II では、Windows 側のハードディスクをマウントすることができます。



Basilisk IIGUI.exe の「My Computer」タブで Enable external file system にチェックして、MacOS でマウントするドライブをチェックします。そうしてから Run ボタンで起動すると、Mac の画面に My Computer があらわれ、開いてみると Windows 側のハードディスクが読めるようになっています。

更に詳しい情報は以下の URL を。
<http://write.asahi.ne.jp/computer/BasiliskII/index.html>

これで貴方も Happy!!



私のネットライフ

(Webサイト作成記)

菅野 研一

■はじめに

この原稿を書くにあたってホームページのデータのファイルのタイムスタンプを調べてみました。一番古いものは1997年11月でした。ということは私がWebサイトを作り始めてから間もなく3年なんですね。3年にしては大したサイトを作っているわけではありませんが、逆にそれがいわゆる「燃え尽き」を起こさずに続けてこられた理由だと思えます。そのあたりを中心に、私のWebサイトの紹介とホームページ作成のコツを書いてみたいと思います。

■作りはじめた頃のネット事情

今でこそインターネットはつながるのが当たり前ですが、日本ではWWWが紹介されたのが確か1994年の秋。その後爆発的にインターネットが普及し始め96年には県内各地にアクセスポイントを設置する地元プロバイダも開業し、当時宮古在住だった私も市内料金でインターネットができるようになりました。

このころはまだ「どうやったらつながるか」というのが主な話題だったと思います。私も手持ちのIISIにMac TCPやFreePPPなどをインストールし、14400bpsのモデムでとりあえずやってみたら、Webの画面表示が追いつかずに回線が切れる(笑)という状況に観念して8500/132に買い換えました。

そして97年の夏にプロバイダを乗り換えて5MBの無料Webスペースを確保したところから私のサイトづくりがゆっくりと始まりました。

■何はなともネタ

当時の個人のページといえば、「我が子」「ペット」「日記」というのが定番でした。まあ、雑誌なども「個人的なことよのた」とい

うスタンスのものが多かったと思います。でも、ですよ。日本初の個人のページならともかく、私はちょっと遅れてやってきた人。もう一ひねりしないと、、、。

ということで以前3度ばかり出かけたインドの写真をスキャンしてみたわけです。そういえば、一度カセットデンスケ(携帯型のカセットデッキ)を持っていったのでサウンドクリップもある。というわけで、リアルプレイヤー形式で音もつけてみました。

■ではちょっとページの紹介

トップページの画像とフォルダ構成を紹介しておきます。アドレスは<http://www.nnet.ne.jp/~kanno/>です。

一応メインはインドのつもりです。実はネタが10年以上前のもので古いため、あえてよけいな解説文とかを入れていないのです。一部貴重なオリジナル音源による音声付きですからぜひご覧ください。

真空管アンプ製作記は容量が足りなくなってきたのでジオシティーズに置いてあります。時々真空管について質問のメールが来るようになりました。(でも答えられない。)

あみだ、年賀状当選番号検索、住所録は自分用に作ったソフトをとりあえず置いたという感じです。

家族が作った手作りアニメは、子供がアニメーションの仕組みを知りたがったのでOHPシートにフェルトペンで絵を描かせてスキャナで読み込んだものをFlashで順に表示するようにして音をつけたもの。およそFlashらしくない使い方ですね。

チロルチョコの秘密は一見の価値あり。新たな発見があります。もともと一度見れば充分(爆)。

■密かなこだわり

地味なホームページですが、多少はこだわりもあります。

(1) クリップアート集にたより過ぎない。

クリップアート集は一見便利ですが、自分のイメージにピッタリ合ったものを探すのは意外に時間がかかるもの。シンプルなものなら自分で作った方が早いかも。

(2) フォルダで整理整頓

メニューに合わせてフォルダを作っています。後で移動もできますが、最初から整理しておくも拡張も恐くない。

(3) 表示は軽く見やすく

背景画像は怠慢ではなく見やすさと軽さのために使っていません。(ちょっと言い訳?)

■使っているソフトなどは?

(1) Golive (PageMill)

HTMLを直接書くのはめんどろだし、ファイルが増えてくるとリンクの状態を把握するのが大変です。ということで最初PageMillを買いました。これはシンプルで良いソフトですが、優待アップグレードが目くらみGoliveに乗り換えました。でも使いこなせてない(^_^;

(2) Photoshop

画像の編集、といってもトリミングと解像度の変更ができれば何とかなのですが、一応Photoshopも持っています。PageMillにLEが付いているので5万円で優待購入。

(3) CANVAS

真空管関係のイラストを描くのに使っています。IllustratorやFreeHandでも。

(4) iShade

ひよんなことからiShadeをもらったので真空管の絵を描いてみたりし

Edited by NOMURA Y.

てます。

(5) RealEncoder

リアルプレイヤー形式のファイルを作るソフトですが、フリーで入手可能です。

(6) Flash

予算の関係で職場で作ります。最近使っていない。

(7) ポラロイドカメラとイメージスキャナ (笑)

なんと急ぎの写真はポラロイドで撮ってスキャナで読み込み。ポラロイドカメラって2000円くらいで買えるんですよ。フィルムは1枚100円弱しますが、しばらくはデジカメよりポラでもOKか。

■長続きのコツ

(1) ネタは小出しに (笑)

例えば長年にわたって続けている趣味の記録があったとします。たいいてい人は新しい表現手段を手にする、面白くなって一気に全部発表しちゃうんです。でもネタを補充するスピードにも見るスピードにも限界があることを忘れてはいけません。写真なら週間に5枚とか10枚位とか目安を決めて、少しずつだせば長い間更新を続けられます。見る方も更新を楽しみに繰り返し来てくれると...

(2) 定期更新を宣言しない

性格にもよるでしょうが趣味のレベルで毎週何曜日とか、毎月何日と決めて更新するのは思いのほか負担になります。有名サイトでも1-2年すると仕事が忙しくなって休止という例は多いものです。

(3) 全面破壊しない

せっかく作ったものはしばらく資産として蓄えましょう。プロバイダの引っ越しとともにガラリと内容を変えちゃう人もいますがもったいない。こうやって十何年、何十年蓄積したら結構面白いことになりそうですね。紙と違ってバラバラになって無くすってことがないですから。恥ずかしいこともあるでしょうけど...)

(2) 記録魔になる

デジカメを持っている人は常に持

ち歩き、ショーもないことでもとりあえず撮影して保存しておきましょう。この蓄積が後々ネタになるかも。チロルチョコの秘密はこうして生まれた (爆)。

(3) 技巧に凝るのはほどほどに

ページづくりを覚えてくるとFlashやJavaScriptなど、色々使ってみたくなる人も多いことでしょう。こういったものを使ったページを作るにはそれなりに時間がかかるし、変更しにくくなることがあります。最初は実験のコーナーとか作ってやるのが良いかも。

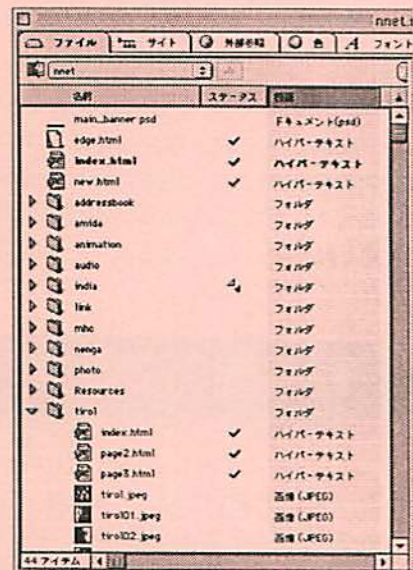
自分のページで困っているのはインポートの写真で、ピンクのバックにとけ込むように影を落としているのですが、バックの色をちょっと変えようと思ったら影の色も変えなきゃいけない!!。写真のスキャンからやり直しが必要で、保留にしています。影をつける前の元ネタをとっておけば良かったのですが。

■まとめ

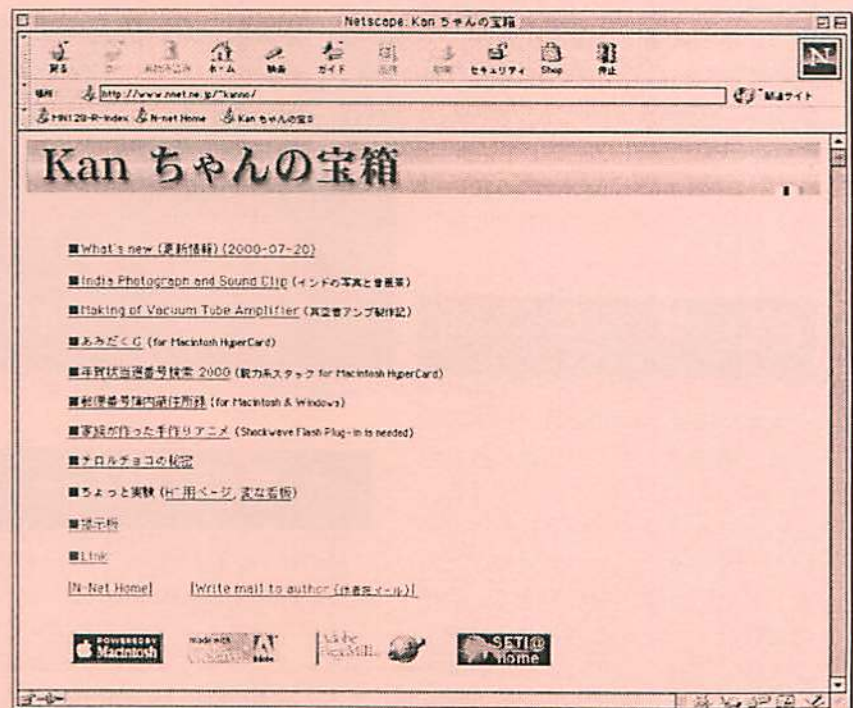
なんか思いつくままの順番に書いてしまいましたが、これから個人のページを作ろうという方には少しは

参考になったでしょうか。Infoseekで「link:www.nnet.ne.jp/kanno/」を入れて私のページをリンクしてくれている人を調べても、知らないところからは1箇所だけでした。これからはもう少しリンクされるようなページにしたいと思っています。

しばらくは多忙のため更新もままなりません。暖かく見守ってください。



フォルダの構成。ちょっとゴミも見えますが...



トップページ。文字主体でシンプル過ぎかも。バナー右下には隠しカウンターを埋め込んで小ワザを効かせている (笑)

私のMacLife再び

藤澤 義栄

私は、39歳、院生である。岩手県教育委員会の大学院派遣制度を利用して、学校に籍を置いたまま、研究生生活に入った。岩手大学へは2度目の入学となる。

大学院派遣制度

ここで、派遣について説明すると、書類で審査を受け、面接を受けて合格すると、受験資格を得られる。そして、自費で受験し合格すれば、自費で入学金授業料を支払う。修士課程2年のうち、1年目は大学、2年目は週2日大学に通うことが許される。この2年間は通常の給与が支払われる。こういう制度があったのである。

院 生 生 活

大学院の生活は真面目そのものである。講義は、ごく少人数で行われる。休む訳にはいかない。(まあ、休む気になるような講義は殆どないけど)学科毎に院生の部屋が与えられ、そこに出勤(登校)する。大学院の授業も、学部と同様に1時間半である。ただ、先生によってはオーバーすることもあるらしい。レポート発表・討論を基盤としながらも、

大学院のレベルを維持するために講義も多い。試験は殆どしないで、課題レポートによる審査が成績につながる。卒業に必要な単位は、24単位である。前期後期を2年間で過ごす、単純に1期8単位(4科目)とればいいことになる。来年週2日にか通学できない私たち現職は、1年で24単位近く取らなければならない。それで、テンションは高くならざるを得ない。ちなみに、私は前期5科目、前期集中3科目、後期5科目、後期集中5科目の18科目36単位を申告した。



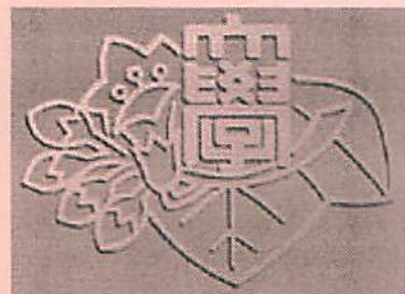
<藤澤義栄(よしえ)である。>

大学院のMac

私のMac環境を紹介させていただくと、Performa6310と純正の14インチマルチスキャンディスプレイにカラースタイルライター1500である。当初はMacでLANが組まれてあったが、現在はWindowsユーザー

が増えたらしい。ところどころでは使われていないMacに出会う。私のMacもそういうものである。部屋には1回線10BASE-TのLANが引かれている。そこで、部屋でカードを共同で1枚購入して、各自のWindowsノートパソコンにつないでいる。

私は、使わないMacのLANカードとメモリを科の先生からいただいてPerformaに装着したので、ソケットにケーブルを差し込むだけである。しかし、遅い。インターネットはフリーで使えるので学会の情報収集、研究検索には、重宝している。しかし、最近のホームページは肥大化しているので、マシンの非力さに手を焼いている。こんなにたくさんの院生がいるのに、Macユーザーは私だけである。はっきり言ってさみしい?学部の授業では、ファブリックの佐々木さんがフォトショップをMacで教えているというのに…。



<IWATE UNIV>

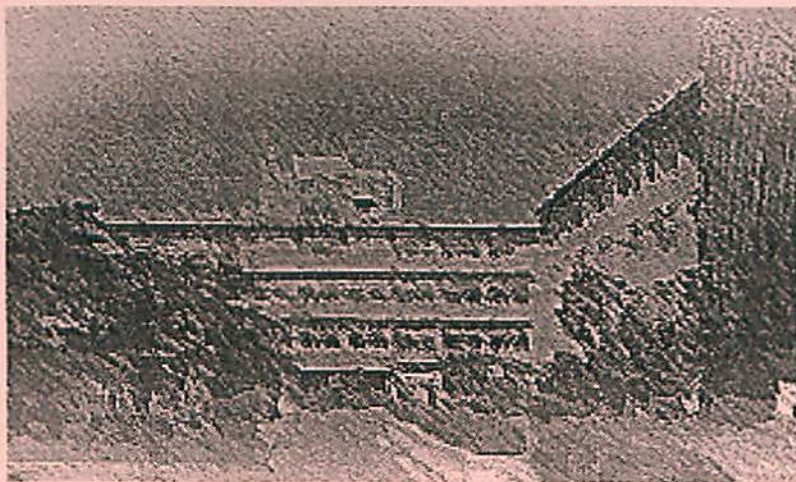
岩大とメール

そう言えば、IMFは岩手大学とつながりが深い。かつては例会の会場であり、会員の先生方もいる。さらに、講師として教鞭をとる会員もいる。共同研究者の会員もいる。おかげで、大学も講義以外のリレーションがあるためか、とても住み心地がいい。

また、社会人学生同士も仲良しになりやすい。厳しい状況での連帯意識のようなものであろうか。今年は、飲み会の他、自然観察会を秋田駒ヶ岳で3回開いた。ほかにも、わんこそば大会などを予定している。その時の連絡は、半分がメール、半分が手紙である。

学生証が磁気カードになっていて、学内のメールアドレスは自動的に割り当てられている。そこで、電算センターにいて、個人でサーバーにアクセスして取得するのだ。

院生には全員割り当てられているものの、横着な（ごめんなさい）院生もいるために手紙も書く。メール交換は、教授との間でも行ってい



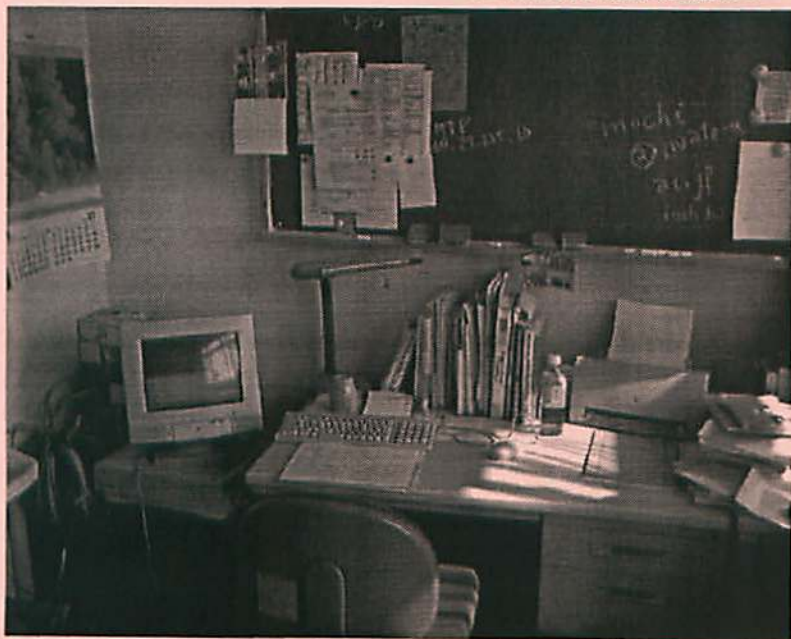
<某岩手大学教育学部>

る。しかし、先生が多忙であるためにメールを開いてもらえないこともある。

手紙が効力を発することもあつてそれが現状である。

そういえば職場の女の先生がメールをやり取りしていると先週言っていたのを思い出した。

<これが大学院生の部屋だ>



Pipn いりませんか

というわけで、私のMacLifeは、4～5年前の皆さんの状態ではないだろうか。Megumiでインターネットの部屋というのがあり、会員でお話していた内容やその意味が今ようやく分かってきたような気がする。（でも殆ど分からないことの方が多いと思うが）

かなり、古くさい話になって申し訳ないと思っている。それでも、私にWindowsの質問が来るのには参ってしまう。

今の私のMacは、私にとって空気のようなワードプロセッサであり、メーカーである。（だが、遅い）折しも、Stop Making Senseがリメイクされ、上映された。かつての時代の最先端が、実体を持って自分の生活に再び位置付けてきたことを感じた。

こんな私が、AirMacを使うのは、いつになるのだろう。

その前に、Pipn だれかいませんか。

oct,2000 at1-520 (LCではない)

藤澤 義栄

Edit by Manabu Satoh



フィレンツェ紀行

佐藤 護人

20年前に学会でフィレンツェに行った時、素晴らしい所であると強く印象に残っていた。もう一度女房とゆっくり絵画を見て、街を歩きたいと思って、今回やっと再訪できたので感想を書いてみる。

9月10日(日) 成田 12:05発

パリ行き エア・フランス

9月10日(日) 午後10時30分

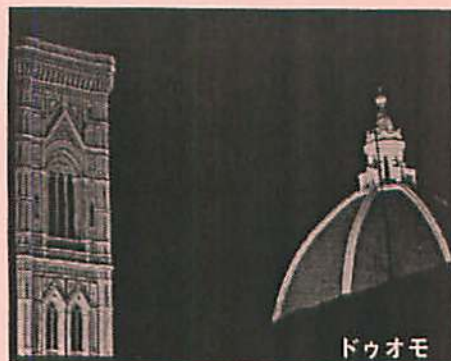
フィレンツェ到着

フィレンツェではサヴォイホテルに宿泊。ここはなかなか奇麗で、調度品がとてもモダンで美しい。場所は共和国広場に面して、町のど真ん中で便利そう。部屋は少々狭いが、充分気に入った。

9月11日(月)

月曜日で美術館が休みが多いので、Manninaと言うベッキョ橋の近くの小さな靴屋で手作りの靴を注文した。出来栄が楽しみ。

大聖堂(ドゥオモ)は午前中長い行列が出来ていたが、午後は待たずに入れた。花の聖母寺院で世界有数の大きさを誇り、大屋根が完成したのが1436年。内部は教会の礼拝堂だが、とてつもなく大きく、スケールが一桁違う感じ。天井の絵は「最後の審判」で、高い位置にあり、すごく良かったが描く時の苦勞を思うとありがたさを感じる。



ドゥオモ

その後ドゥオモ美術館に寄り、ミケランジェロの「未完のピエタ」を見た。ミケランジェロ自身の姿を模した聖者がキリストを支えている。その聖者は未だ彫り上がっていないが、それゆえに想像をかき立て、独特の雰囲気を出している。



ピエタ

9月12日(火) 午前8:30

バラチーナ美術館に行き、朝早いので空いている。ラファエロが飛び抜けて良かった。あの優しいマリアの顔は……。

ウフィツィ美術館は流石に大きく、ボッティチェッリの「春」と「ヴィーナス誕生」に20年ぶりに再会出来た。「春」修復で奇麗になり華やかで、素晴らしかった。「ヴィーナス誕生」は奇麗で良かったが、やはり首が不自然に長く曲がって見えた。でもボッティチェッリは顔が良く、私の好むところである。

ラファエロはその絵のマリアの顔が美しく、早死にした母親の顔を思い描き好みの女性の顔をモデルにして、奇麗な絵になっているとのこと。とても美しく、これに会うだけでもフィレンツェに来る価値がある。心をうつものがある。

フィリッポ・リッピの絵も多く、中でも「聖母子像」のマリアが奇麗でしかも優しい雰囲気を持っている。美人の尼僧をモデルにして描き、その人と駆け落ちしたエピソードがある。こんな美人なら駆け落ちしたくなるのも納得できる。

9月12日(火) 午後

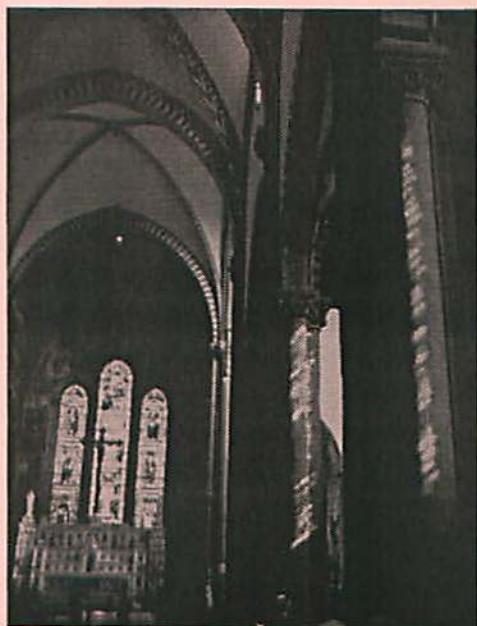
女房は疲れたので、私だけアカデミア美術館へ行った。

ダヴィデ像が美術館の中心に立派に鎮座していた。この像は大きく、その造形は素晴らしく精巧で美しい。中心の物は浮世絵とは違いヒモゼでささやかだが、他の絵画より立派で、ホーデンの形が大変良い。心なしか女性が熱心に見ていたような気がした。それでいいのだ。



サンタ・マリア・ノヴェラ教会を見つけ、中に入るとステンドグラスの奇麗な光が、柱と床にさして美しく彩られてた。これこそ神の御恵み。頼む一枚で良いから表紙になる写真が撮れていることを願った。

夜午後5時ころ帰って見ると、女房は風邪が熱っぽい。かっこん湯を飲んでしばらくして、梅かゆを温めしじみ汁と一緒に食べた。こんなに美味しいおかゆとしじみ汁は食べた事は無い。旨かった・・・。



9月13日 (水) サヴォイホテルから20分で丘の上ヴィラ・サンミケーレに到着。400年前の修道院をレストランホテルにしている。さんさんと日の差すテラスで、遠くに今までいたフィレンツェの町並みがほんの少しかすんで見える。気持ちの良いそよ風の中シャンパンは素晴らしい爽やかな味で、これを飲みながら天国にいる気分である。フィレンツェに来て何故か朝食はビュッフェで食べ、昼はサンドウィッチですませ、夜もお互いに調子が悪く、軽食だけだった。今日初めてスパゲッティを美味しく食べた。

9月14日 (木) パリにはストで6時間遅れて18:30頃到着、インターコンチネンタル・ホテルに宿泊。パリのレストランでワインと鴨料理を楽しんだ。10時頃帰って目が覚めると4時まで熟睡した。

9月15日 (金) 13時15分発
パリ (シャルルドゴール) 発 エア・フランス

9月16日 (土) 午前8時 成田に到着
成田エクスプレスに乗車中東京は

暑い。
帰りの飛行機で見た週間朝日のラーメンの写真でむしように食べたくなった。東京駅で早速ラーメンを食べて、大満足。食べ物は日本にカギル。
午後1時半の盛岡到着 よかったー。

フィレンツェには美術館や寺院が町の中に40ヶ所も集中しており、殆ど歩いて行ける距離に有る。どれも夫々に歴史があり、見るに値するルネサンスの絵画、彫刻がある。その後のパリ等にある芸術の起源がここに有る。町並みそのものが景観を保ち、建物と石畳は数百年の歴史をきざんでいる。多くの有名なブランド店のショウ・ウインドウは見事でセンスの良さを感じる。それはパリに立ち寄って比較して見ると、フィレンツェの方がセンスが良く、より素晴らしいと感じた。レストランの食事はこの反対であった。残念ながらピザや美味しいスパゲッティを食べる機会が無かった。もう一度行きたい。もう一度!



9月13日 (水) 朝3時ころから眠れず、5時半頃カメラを担いで暗い中をホテルを出発。ベッキョ橋の写真撮っていて、夜明け寸前に、空が紫色と橙色になり、いわゆる黎明が見えてきた。河岸の街灯とベッキョ橋の夜間照明に黎明が加わって最高の場面である。これはうまく写っていると確信しながらホテルに帰った。

朝食後、バルジェロ美術館へ。一階のミケランジェロの彫像は初期のもので印象的ではなかった。二階のドナテッロはやはり良い。緻密でスマートである。



林檎 # カラシ



Barney Kessel

a.t

編集後記



懐かしのフィレンツェにやっと思うことが出来ました。2ページでは収まらないので、次号に続きをととも考えましたが、どうかおさめました。HPでカラーを是非ごらん下さい。

佐藤



自分の纏めもかねて Basilisk-II を書いてみましたが、自分で作業するのと、作業経過を解説するのは全く勝手が違いますね。皆さんはホームページの解説を読んだ方が良くと思います。

編集や記事を書くときDTPの力が付きますね。(見栄えはともかく技術は・・・)皆さんもやってみませんか?編集長にメールを書けば即OKです。

野村



今回は、ほんとにネットワークのありがたさを感じました。でも、ネットワークに繋がっていなかったり、繋がっていても利用していなければその恩恵にはあずかれないんですね。

水沢 佐藤



この号の、林檎ギャラリーを担当することを引き受けてしまい、どうしたものかと考えていましたが、「My only style」で描くしかないと気がつき、少し楽な気持ちになって描かせていただきました。

どなたか、このページに作品をお寄せいただければ、本当の意味の「みんなの林檎ギャラリー」になると思いますのでよろしくお願いいたします。

土村

注

今回の号では、菅野研一さん、藤澤義栄さん、のご協力もいただきました。本当にありがとうございました。

みなさんからの投稿もお待ちいたしております。どしどし、お寄せください。

土村

会費納入先

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

尚、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。振り込み通知書だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合がありますので、宜しくお願いいたします。

会員近況報告

募 集 中 !

新規このコーナーへの、みなさまからのショートコラムを、お待ちしております。

編集委員より!

会員名簿

阿部 好晴	IMF203	盛岡市	高橋 丈	IMF261	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
沖野 覚	IMF044	二戸市	高村 智		盛岡市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	田村 修	IMF242	盛岡市
小野寺 俊博	IMF303	盛岡市	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
神 達宏	IMF229	盛岡市	土村 中	admin	盛岡市
川村 湯真		新宿区	照井 芳夫	IMF026	花巻市
菅野 研一	IMF211	盛岡市	遠山 明人	IMF200	盛岡市
木村 和男	IMF302	盛岡市	徳富 亘	IMF015	花巻市
工藤 聡	IMF094	盛岡市	戸塚 孝徳		盛岡市
國光 勝美	IMF243	盛岡市	中島 恵助	IMF236	盛岡市
久保 司	IMF235	山形村	長土居 正弘	IMF087	盛岡市
熊谷 知暁	IMF273	旭川市	根本 聡彦	IMF042	札幌市
斎藤 秀一	IMF109	滝沢村	野村 翼	IMF304	盛岡市
酒井 裕之		花巻市	野村 行憲	IMF000	盛岡市
桜井 瑞子	IMF267	滝沢村	楡山 邦彦		久慈市
笹川 順子	IMF220	盛岡市	福士 宙之		盛岡市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	福田 健次	IMF005	花巻市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	藤澤 義栄	IMF209	花巻市
佐々木 則之		紫波郡	藤村 洋	IMF028	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	藤原 友行	IMF265	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	藤原 真理		宮古市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	三浦 滋	IMF287	水沢市
佐藤 雅子		盛岡市	三浦 秀徳	IMF283	仙台市
佐藤 学	IMF119	金ヶ崎	三浦 吉範		盛岡市
佐藤 護人	IMF010	盛岡市	村上 宏文	IMF099	盛岡市
白石 隆	IMF039	盛岡市	藪 敏裕	IMF214	盛岡市
杉村 栄一	IMF036	盛岡市	山子 則男		八戸市
杉村 峰秀	IMF113	花巻市	山田 政行		盛岡市
外川 正	IMF244	盛岡市	山本 淳	IMF034	盛岡市
高橋 晃	IMF031	盛岡市	渡辺 浩志	IMF069	能代市

以上62名

例会案内

12月 23日(土)
2001年 1月 27日(土)

14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所:
マリオス 7階
交流サロンにて

11月の例会

11月 25日(土)の例会は、盛岡駅裏西口にできましたマリオスの7階にあります交流サロンの中にありますオープン会議室を借りておこないます。

尚、駐車場は青空と立体の2カ所があります。

どちらも、150円/30分と、ちょっと高めです。

ナイトサロン案内

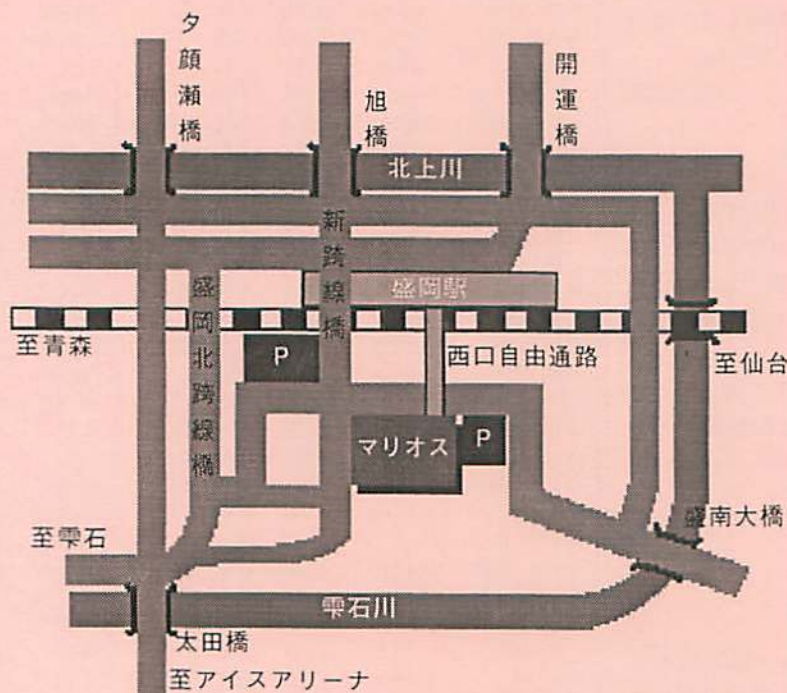
ナイトサロンは、毎月第二火曜日に、八幡宮境内にある喫茶店、愛名亭「茶欧」において、午後7時頃から開催しています。

是非、お時間のある方はお出てください。問題点などはその場で解決できると思いますよ!?

愛名亭「茶欧」

019-654-6249

IMF例会開催地地図



場所
マリオス 7階
交流サロン 会議スペース



「林檎」51号は...

First Class	ATOK8
Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
StreamLine	SuperPaint

等で作ったものをPageMakerでまとめLaserWriter, Microlineでプリントしました。

「林檎」第51号 2000/10/28

編集長 佐藤 護人

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村 行憲

020-0105 盛岡市北松園 3-34-2

非売品